

2026 年 8 月 16 日

高校野球甲子園での熱中症

林 但

今真ただ中の甲子園球場での高校野球で、日本高野連は15日、第108回全国高校野球選手権大会で導入している今年の2部制に対して、取材に応じた。

熱中症対策として、2024年の第106回大会から3試合を行う日に2部制を導入し、第107回では4試合を行う日も「午前の部」2試合、「夕方の部」2試合を行っていた。
今年は、過去3大会で熱中症疑いの発生が最も多かった午前10時半から午後1時頃の時間帯の試合を避け、「朝の部」1試合と「午後の部」3試合に分けて行った。

今年は10日間33試合で熱中症疑いは9件で、昨年の同時期での19件から減少。内訳は第1試合＝6件、第2試合＝2件、第3試合＝2件、第4試合＝1件となった。

9件の内訳として試合後の発生が5件、試合中に発生した4件のうち1件が途中交代となった。

大会本部の朝日新聞高校野球総合センター・志方浩文センター長は「気温が後半低めだったところもあるかもしれませんが、選手やチームの意識の高さもあるとみています」と現状を分析。着替えを頻繁に行い、体調の異変を早めに伝えるなど、理学療法士との連携態勢が取れていることも要因に挙げた。

救護室を訪ねた観客の熱中症疑いの受診者は10日間で82件となり、昨年（86件）並みだった。（上記、16行は朝日新聞他から抜粋）

本日の第二試合では熊本県代表の有明が勝利してベスト8に進んだ、熊本の方には大きな力を与えて続けている。見ていて感動を強く覚えます。

話は変わりますが私も所属する観光ボランティアである、昨年冬に冷暖房のエアコンを入れていただいたのでよかった。猿島公園専門ガイド協会が行っているガイドでも今年は今のところ体調不良者などはない。6月の定例会で、①ガイド時間を夏季期間は90分を75分に ②ガイドの健康管理の徹底 ③ガイド始めにお客様の健康状態確認&こまめな水分補給・木陰での説明の推進 ④逆回りコース（急な階段を上らない）の対応他を行っています。例年にない、状況であり、今まで以上に気を配りながらの対応を行っています。